

管内関係機関 担当者様

感染症発生動向について

このことについて令和8年第3週(1月12日～1月18日)の動向をお知らせします。

定点あたり患者数(1医療機関当たりの平均報告数)

感染症の種類	県北保健所管内(平戸市、松浦市、佐々町)			長崎県	全国
	1週	2週	3週	3週	3週
インフルエンザ	●24.67	●22.00	●35.00	●18.53	11.33
新型コロナウイルス感染症	0.33	0.67	0.67	0.73	1.54
RSウイルス感染症	0	0	0.50	0.65	0.62
咽頭結膜熱	●2.50	●4.00	●8.00	0.61	0.22
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0	0.50	0.50	1.48	2.22
感染性胃腸炎	1.50	9.50	7.00	4.74	6.68
水痘	▲1.50	▲1.00	0	0.10	0.31
手足口病	1.00	0	0	0.23	0.04
伝染性紅斑	●1.50	●3.50	●3.50	0.58	0.26
突発性発疹	0	0	0	0.19	0.24
ヘルパンギーナ	0	0.50	0	0	0.02
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	0.02
急性出血性結膜炎				0.13	0.02
流行性角結膜炎				1.75	0.44
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.01
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.02
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0.50	0.51
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0.01
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0.04
急性呼吸器感染症(ARI)	36.67	47.67	69.67	60.76	48.91

●:警報レベル ▲:注意報レベル

【トピックス】 インフルエンザが流行しています。

長崎県の第3週の患者報告数は945人で、定点当たり報告数は18.53となりました。前週より増加し、警報レベルの報告数が9週間継続しています。

地区別にみると、10保健所のうち5保健所で警報レベル、2保健所で注意報レベルの報告数となっています。

年代別では、10歳未満(50%)、10代(24%)が多くなっています。

今後も手洗いの励行、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策に努め、感染予防を心がけましょう。また、インフルエンザワクチンは、発症及び重症化を一定程度予防する効果があります。希望される方は、ワクチンを接種しましょう。

【トピックス】 感染性胃腸炎に注意しましょう。

長崎県の第3週の報告数は147人で、定点当たりの報告数は4.74でした。地区別にみると、佐世保地区(9.50)、西彼杵地区(8.00)、県北地区(7.00)は他の地区より多くなっています。例年冬期に患者数が増加する傾向にあります。今後も動向に注意しましょう。

本疾患は、細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。原因是ノロウイルスやロタウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルス感染による場合が主流ですが、腸管出血性大腸菌などの細菌が原因となる場合もあります。手洗いの励行とともに、体調管理に注意して感染防止に努め、早めに医療機関を受診しましょう。

【トピックス】 咽頭結膜熱に注意しましょう。

県北地区の第3週の定点当たり報告数は、8.00で前週より増加し、2025年第18週に「4.00」を超えて以降、警報レベル報告数が断続しています。

本疾患は、アデノウイルスによる感染症で、発熱・咽頭炎(咽頭発赤、咽頭痛)および結膜炎を主症状とします。主に夏季に流行が見られますが、年間を通じて発生します。

感染経路は、飛沫感染、手指を介した接触感染であり、夏季にプールの水を介した結膜への直接侵入により感染する場合もあるため、「プール熱」とも言われています。治療は対症療法となる為、感染予防が重要です。手洗いや手指消毒を励行しましょう。